頌徳会グループのご案内（令和元年10月1日現在）

日野病院 外来 診療時間表（堺市東区北野田626番地 TEL 072-235-0090）

●訪問診療 ●訪問リハビリテーション ●訪問看護 ●訪問服薬指導
●通所リハビリテーション
●時間外診療　有 ●無料送迎バス運行（北野田駅⇔日野病院）
●無料巡回バス運行（「新金岡・三国ヶ丘」・「深井」方面）

診療	診療時間帯		予約制	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前 9:00～12:00 午後13:00～15:00(月) 午後14:00～16:00(水) ◎急な風邪の症状や下痢・発熱等の比較的軽度な内科症状であれば、夜間、平日、日曜、祝日問わず、時間外診療を行っています。	午前	—	●	●	●	●	●	●	専門診療科と連携しつつ総合的な視野で診療を行っています 訪問診療も対応しています
糖尿病内科		午後	—	—	—	●	—	—	—	早期診断から合併症までの治療を行っています。
脳神経外科		午前	—	—	●	—	—	●	●	脳神経全般に関する診断から治療までを行っています MRIによる検査も受付けています
整形外科		午前	—	●	●	●	●	●	—	レントゲン・CT・MRI撮影などにより診断・治療を行っています
外科・形成外科		午前	—	—	●	●	—	—	●	小さな外傷や皮膚腫瘍等の診療を行っています
神経内科		午後	○	●	—	—	—	—	—	訪問診療（脳梗塞等）も対応しています

日野クリニック 外来 診療時間表（堺市中区深井中町1248番地 TEL 072-276-5111）

●訪問リハビリテーション ●デイケア　メディカルフィットネス ソレイユ
●夜間・土曜診療　有 ●無料送迎バス運行（深井駅⇔日野クリニック）

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	一般内科の他、循環器、呼吸器疾患を主に診療しており、胃カメラ、超音波などの検査が可能です
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
整形外科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	レントゲン・CTなどを利用して総合的に診断しています
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
リハビリテーション	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	理学療法士によるリハビリテーションを行っています （受け付けは、終了時間の30分前までとなっています）
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
皮膚科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	皮膚疾患の他、膠原病、リウマチ疾患も診断しています
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
アレルギー科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	乳児の食物アレルギーも診断しています （土曜日は第1・3・5週に診療を行っています）
	午後 13:30～16:30	—	—	—	—	—	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
形成外科	午前 9:00～12:00	●	—	●	—	—	—	水曜日午後診のみ予約制で手術を行っています ほくろ・脂肪腫・ひきつれ等以外にも様々な疾患を取り扱っていますので、ご相談ください
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	—	—	
	夜間 17:30～19:30	—	—	—	—	—	—	
禁煙外来	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	—	保険診療による禁煙治療を行っています 初診の方は午前及び午後のみ診療を行っています
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
腎臓内科	午前 9:00～12:00	—	—	●	—	●	—	腎臓病と腎臓病に付随する疾患の診断と治療を行っています （完全予約制）
	午後 13:30～16:30	—	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	—	—	—	—	—	—	

日野クリニック 血液浄化（人工透析・血漿交換など）時間表

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
早朝透析	6:00～	—	●	—	●	—	●	無料送迎バス完備
午前透析	8:30～	●	●	●	●	●	●	
午後透析	～17:00	●	●	●	●	●	●	
夜間透析	～22:00	●	—	●	—	●	—	

介護老人保健施設 ソルヴィラージュ	堺市東区北野田636番地	TEL 072-235-5800	●入所・ショート（短期入所）：150名　●デイケア：100名
介護老人福祉施設 ソルメゾン	堺市東区菩提町2丁62番地1	TEL 072-288-2008	●入居：80名／ショート（短期入所）：20名　●デイサービス50名
おひさまケアプランセンター	堺市東区北野田626番地	TEL 072-235-7722	〔ケアマネージャーが要介護認定の申請代行等、介護サービス利用のお手伝いをします〕

★最新情報をホームページ http://www.syo.or.jp/ に掲載しています。ご見学、ご相談など随時承っていますので、お気軽に各施設までお問い合わせください。

VEGETABLE OIL INK
地球環境保護のため、この印刷物はベジタブルインキを使用しています。
また、有害廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。

頌徳会グループ広報誌「ひだまり」2019 秋号 Vol.II No.49 発行／社会医療法人 頌徳会 総務部 ★ご希望の方に無料配布します デザイン／so much

頌徳会・頌徳福祉会と地域を結ぶ情報誌

ひだまり

2019 秋号
Vol.II No.49

社会医療法人 頌徳会
社会福祉法人 頌徳福祉会
日野病院
日野クリニック
介護老人保健施設ソルヴィラージュ
介護老人福祉施設ソルメゾン

CONTENTS

2 特集 日野病院「日常生活リハビリテーション」の取り組み
4 頌徳会グループお役立ち情報
7 理事長コラム
8 頌徳会グループのご案内

おかげさまで
頌徳会グループ創業
40周年

日野病院「日常生活リハビリテーション」の取り組み

日野病院では着替えやトイレ、入浴、食事等の日常生活動作そのものを‘リハビリテーション’としてとらえ、自立した日常生活を支援するという考えの下、「日常生活リハビリテーション」の強化に取り組んでいます。

その取り組みを当院内科医師「西川医師」のインタビューに沿ってご紹介します。

Q 病棟において、「日常生活リハビリテーション」に力を入れて取り組んでいる意味は何でしょうか？

西川医師：もとよりリハビリテーションの目的というのは、患者さんに元通りの生活、あるいは可能な限り元通りに近い生活に戻っていただくことです。そのためには、筋力や関節可動域などの身体機能を主とした基本的なリハビリテーションだけでは不十分なのです。
「日常生活リハビリテーション」は基本的なリハビリテーションの応用編で、患者さんの生活に焦点を当てています。

Q 「日常生活リハビリテーション」を提供する上でどういったことを重点に置くべきでしょうか？

西川医師：

①まず、患者さんのお気持ちとお体のことをよく知ること。

●ラウンドによる聞き取り

▲外泊された患者さんの様子を聞き取り

●生活リハ中の聞き取り

▲患者さんのご自宅周辺のことを地図を見ながら聞き取り

毎日リハビリテーションに励まれていても、長い入院生活の中で、心と身体の好不調はどの患者さんにも表れます。当院では、リハスタッフが患者さんの心や身体の状態について定期的に聞き取りを行っています。患者さんの心や体をよく知り、その情報を個々のリハビリテーションにつなげています。

②ご自宅やその周辺の環境も含めて詳細に知ること。

●看護師長とリハスタッフによる入院時居宅訪問

当院では居宅訪問を退院時ではなく入院時に実施しています。それにより早期に患者さんの目標設定をすることが可能となりました。

③患者さんとそのご家族、さらに退院後のサポートスタッフ(訪問・通所リハ・スタッフ、相談員、ケアマネージャー等)も含めてよく話し合うこと。

▲IC（インフォームドコンセントカンファレンス）の様子

▲退院支援カンファレンスの様子

入院から退院までに病棟では様々なカンファレンスを行っています。
まず、入院から2週間後にショートカンファレンスを行います。その他IC（インフォームドコンセントカンファレンス）やファミリーカンファレンスで患者さんやご家族の状況を確認しながら、在宅復帰に向けて目標設定を立案・修正します。

西川医師：①～③を踏まえた上で、ご自宅での生活動作一つひとつに具体的な目標を設定して（目標指向的アプローチ）、患者さんの身体機能がご自宅で最大限に発揮できるようにリハビリテーションを進めます。元の生活、あるいは元に近い生活に戻っていただくには、リハビリテーションの提供期間はいくらあっても足りませんが、提供期間は国によって定められていますので、その限られた期間内に目標を達成していかなくてはなりません。

【日常生活リハビリテーションの実施】

リハ室における「できる日常生活動作」を、病棟での「している日常生活動作」として定着できているかどうかをリハスタッフが常によく観察し、介助・指導を行っています。

●更衣

更衣練習については、起床してからの更衣というご自宅と同じ環境を想定して、リハ室で行うのではなく、必ずベッドサイドで行っています。

●病棟での歩行練習

ご自宅では、お部屋からトイレまでの間に一部手すりの無い廊下があるため、壁伝いでの歩行練習を行っています。

●病棟での段差練習

ご自宅を想定して、門の段差箇所に手すりが無いため、壁伝いでの段差練習を行っています。

●入浴練習

お一人で生活されている方については介助無しで浴槽をまたぐ、浴槽につかる等の練習を行っています。

●自販機での買い物

買うものを選ぶ→お金を支払う→買ったものを持って帰る、という買い物リハを行っています。当院では自動販売機を使って、これらの行為ができるようになるまで何度も行います。また、次のステップとして、外出による買い物リハも行っています。

これらの日常生活リハビリテーションでは、リハスタッフは観察・見守りだけで、あえて介助せずご自身で最後まで行っていただく場合が多々あります。これは退院される時に、患者さんではなく『自立できる人』としてご自宅へ帰っていただくための、『日野病院が考える日常生活リハビリテーション』なのです。

【レクリエーションへの取り組み】

病棟生活の中で、「いかに活動量を増やしていけるか」、「リハビリテーションへの意欲を継続できるか」が在宅復帰の鍵と考えます。退院後の社会生活参加も視野に入れて、レクリエーションの時間も提供しています。

▲パターゴルフ

◀かがんでボールを取るのもリハの一つです

▲囲碁

▲集団体操

介護老人保健施設 **ソルヴィラージュ**

～フレイルの予防を目指して～ ソルヴィラージュ入所フロア 集団体操・レクリエーションの取り組み

ソルヴィラージュ入所フロアでは、フレイルの予防を目指して集団体操やレクリエーションの強化に取り組んでいます。

フレイルとは、「加齢により心身が老い衰えること」で、活動量や筋力の低下・交流機会の減少・認知機能の低下を招いてしまいます。

改善点

✓1日の中で集団体操とレクリエーションの時間を決め、スケジュールを作成

✓昼食前のみであった集団体操に朝の‘棒体操’、夕方の※‘堺コッカラ体操’の2つの体操を追加

※ 堺コッカラ体操：堺市と関西大学の共同研究で生まれた、認知症予防体操です。「ココロとカラダ」を元気にし、「ここ（堺）から」始める体操という意味で「コッカラ」とネーミングされました。

■集団体操・レクリエーションのご紹介

ご利用者の日常に「笑顔」を！

柔軟性ができ、関節の可動域を広げることができます。また認知症予防に効果が期待できます。

足ふみをすることで、歩くための筋肉の運動になります。また、立位運動は下肢の筋力を増加させ転倒予防に効果が期待できます。

ボールを転がすことによる上半身の運動や 転がすコースを考えたり、まっすぐ転がせるように集中することで脳の運動にもなります。

一つひとつの動きは簡単ですが、音楽に合わせて、色々なパターンを組み合わせることで脳を活性化することができます。

ご利用者の声

- 身体を動かすと、気持ちがいい
- 毎日の日課になって楽しみ
- 身体も気持ちもすっきりするし、張り合いができて楽しい

2Fスタッフの声

体操やレクリエーションの時間を決めたことで、ご利用者が個々に1日の計画を立てられ、参加に積極的になられました。皆さんとても楽しみにされているようで、参加されるご利用者同士の会話も増え、多くの方の笑顔が見られます。今後もバリエーションを増やし、今まで以上に楽しんで参加いただけるように継続して取り組みたいと思います。

■4階フロアあじさい祭りの様子です

2019年 6/23(日) 開催

ソルヴィラージュ 4大イベントの一つである‘あじさい祭り’では、毎年各フロアで趣向を凝らしたイベントを開催しています。

4階フロアでは 午前中に‘二人羽織’と‘マジックショー’を行いました。‘二人羽織’は、二人の演者のぎこちない動きが面白く、ご利用者の皆さんに大いに笑っていただきました。また‘マジックショー’では、おなじみの‘剣刺しマジック’を職員手作りのセットを使い行いました。「剣が刺さるのかどうか？」ご利用者の皆さんが不安そうに見守る中、箱の中に入った職員は無事に脱出成功！皆さんから大きな拍手をいただきました。午後からの‘のど自慢大会’では、ご利用者の皆さんの大熱唱と大声援で活気あふれる時間となりました。

普段は居室ですごされることが多いご利用者も積極的に参加され、皆さんに楽しんでいただくことができました。今後も皆さんに笑顔でおすごしいただけるような魅力あるイベントを企画してまいります。

▲手の動きに思わず目をつぶり、皆さん大爆笑！

▲のど自慢大会では皆さん大熱唱！

介護老人福祉施設 **ソルメゾン**

入居フロアで外出レクを行いました！

▲大きなマグロの前でポーズ！

▲新鮮な海の幸がたっぷり！

▲クレープにソフトクリーム、甘いものには目がありません

ソルメゾンの入居フロアでは、近隣の公園の散策や初詣、お買い物等ご利用者のご要望を取り入れた外出レクを行っています。外出により、季節を感じていただいたり、様々なものを見たり聞いたりしていただくことで、脳や心が活性化されるという効果が期待できます。

今回は、まぐろパークとイオンモールへ外出しました。

マグロパークでは、昼食に新鮮なお寿司やボリュームのある天丼などを召し上がっていただきました。食後には、‘マグロの解体ショー’を見学し、屋内の市場を散策していただきました。

イオンモールでは、デザートにドーナツやクレープを召し上がった後、ユニットの皆さんといただくお菓子を購入されました。

今回は、一部のご利用者の方に参加いただきましたが、外出レクは希望者が多く入居フロアでは人気のレクリエーションの一つとなっています。職員も次回の外出先の計画を立てるのを楽しみにしています。

日野病院　『第1回ケアマネージャー交流会』のご紹介

7月5日（金）に日野病院にて第1回ケアマネージャー交流会を開催しました。

交流会の目的　●近隣のケアマネージャーの皆さんに日野病院の特性や取り組みについてご理解いただき、当院の医師や各専門職と顔の見える関係を構築し、今後の連携につなげるため。

【参加者】:37名

【当日プログラム】
①脳卒中の基礎知識
『脳卒中！こんな訴えがあったら要注意！』
＜白樫副院長による講義＞
②日野病院をうまく活用しよう
＜地域医療連携室より地域包括ケア病棟の利用について＞
③医療ニーズを有するご利用者に対する相談支援事業について
＜看護部より相談支援窓口についてのご案内＞

当日の様子

白樫副院長による講義では、各ケアマネージャーの皆さんから担当されているご利用者の病気に関する質問が多く、活発な質疑応答が交わされました。地域医療連携室からは、実際の事例を基に、当院の地域包括ケア病棟の活用方法を具体的に説明しました。最後に、看護部より厚生労働省の支援持病に基づき、医療専門スタッフによる‘支援相談窓口’の開設についてご紹介しました。

▲白樫副院長からも病気についての逆質問も！

参加されたケアマネージャーの声

✓普段お会いできない医師にお会いでき、話ができてよい企画だった。身近に感じられる病院として今後も頑張っていただきたい。
✓以前よりレスパイトの話は伺っていたが、今日の説明でよく理解できた。
✓5回にわたるすごい企画だと思う。地域包括ケア病棟の話を伺って、紹介できる案件が頭の中に描けてきました。次回の口腔ケアのお話を楽しみにしています。
✓医療専門職による相談窓口があることは心強いと思いました。以前担当したご利用者が、日野病院に入院中に、看護師・栄養士等が協力して食事形態をムース食から一口大にアップしたことを思い出しました。

今後の日程　全5回（2か月に一度）の開催を予定しています。

日野クリニック　新健診システムを導入します

日野クリニックでは、11月に新健診システム
『ID HEART』（アイディハート）を導入します。

BEFORE　身長・体重・血圧・視力・聴力の検査結果：看護師が手入力
トリプルチェックのため時間がかかっていた

↓

『ID HEART』導入
検査結果がシステムに自動的に送信

AFTER　検査のスピードアップ

▲利用者IDをバーコードで読み込み結果を自動送信

『ID HEART』の導入により、検査時作業のシステム化を行うことで、看護師が検査結果に詳しいコメントを記載するなど、人にしかできないサービスとして、ハイリスクと診断された方の外来受診へのフォローアップを行います。日野クリニックはこれからも地域の皆さんのニーズにお応えできるようシステム化をすすめ、サービス向上に努めてまいります。

※新健診システム『ID HEART』は、日野病院でも導入します

理事長コラム　リハ・プラン

理事長 日野 頌三

当院の回復期リハビリテーション病棟では、それぞれの患者さんに最適なリハビリテーションを提供するため、多職種が集まり、チームで以下のような取り組みを行っています。

まず医師が原疾患の病態と予後、治療方針（食事療法・薬物療法・手術療法等）を、接触時間の一番長い看護師は病棟でのADL（移動・排泄・食事・更衣・洗面・入浴などの日常生活動作のアセスメント）、さらに薬剤師、管理栄養士、ケース・ワーカーなどがそれぞれの立場から情報を出し、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が総合的にリハビリテーションの内容、機能障害の経緯と予後、必要な補装具、所要期間、福祉機器等を考え、患者さんの容態に沿ったリハビリテーションを提供するのです。

このとき大切なことは、医療提供者側の主張にしないことです。患者さんの自己決定権を尊重して同意を得て治療を行います。しかし、患者さんはリハビリテーションに間違ったイメージを持たれることがあります。麻痺の完全な回復とか、あまりに高いゴールを希望されたり、逆に「どうせ齢だから」と諦めてしまっていたり等です。これも是正して、正しい目標設定をしないとリハビリテーションは上手くゆきません。それには医療者全員の知恵と患者さんへの思いが集まっていることが重要です。「リハ・プラン」は具体的でなければなりません。たとえば、「自販機まで行ってジュースを買ってくる」とか、結果が評価できるように、楽しくて達成感のあるものが理想です。リハビリテーションの途中、折に触れてどこまでプランに沿えているかを話題にしたりすると、この「リハ・プラン」を患者さんと共有（IC）することになり、お互いにしていることが何なのかわかるのがメリットです。患者さんに納得してリハビリテーションを受けていただくこと、この納得が安心に繋がり、前向きにリハビリテーションに向かっていただくことができ、これがリハビリテーションの効果を大きく左右します。

頌徳会グループ　日野病院厨房が『2019年堺市食品衛生優秀施設』に選ばれました

堺市では、『食の安全・安心』をより一層推進するために、営業者からの 申請に基づいて施設を調査し、衛生状態が優秀な施設に標識を交付しており、
2019年度は日野病院厨房が優秀施設として表彰されました。

栄養調理課　松井総料理長のコメント
日々の努力が認められとても嬉しく思います。優秀施設に選出されたことを励みにし、今後も引き続き安全で美味しい食事の提供を目標に、職員一丸となって努力してまいります。

頌徳会グループ 理念　生命の花を咲かせます　生きる力を支えます　力を活かして支えます